

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【公開番号】特開2012-157692(P2012-157692A)
 【公開日】平成24年8月23日 (2012.8.23)
 【年通号数】公開・登録公報2012-033
 【出願番号】特願2012-2553(P2012-2553)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/24 (2006.01)

A 6 1 C 19/04 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/24

A 6 1 C 19/04 J

A 6 1 B 1/04 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月20日 (2013.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯列の側面を連写撮影して画像列を形成する連写画像列形成手段、前記連写画像列形成手段で形成された画像列を部分的な歯列画像として全体合成の中心となる画像から合成して複数の部分歯列画像を形成する側面歯列画像形成手段、前記側面歯列画像形成手段で形成された複数の部分歯列画像間で全体合成の中心となる画像に基づいて連結合成して全体の歯列を形成する側面歯列画像合成手段よりなる口腔内撮影表示システム。

【請求項 2】

その先端に反射鏡が所定の角度で設置され、その後端に前記反射鏡の反射画像を撮影する撮像器が設置され、両端間を一部が開放された状態で接続した手持ち型の撮影手段を用いて口腔内を撮影する請求項 1 に記載の口腔内撮影表示システム。

【請求項 3】

歯列上の所定の位置に撮影画像上認識可能なマークを設定するマーク設定手段、
 歯列の一方の側面及び他方の側面について連写画像列を形成する連写画像列形成手段、
 前記一方の側面の連写画像列及び前記他方の側面の連写画像列のそれぞれについて、マークが所定の位置にくる画像から合成することで、一方の側面歯列画像及び他方の側面歯列画像をそれぞれ形成する側面歯列画像形成手段、
 前記一方の側面歯列画像と前記他方の側面歯列画像を、前記マークが所定の位置にある静止画像中の歯列上の特徴部位に基づいて連結合成する側面歯列画像合成手段を具備する請求項 1 に記載の口腔内撮影表示システム。

【請求項 4】

前記側面歯列画像に対応する歯の X 線画像を表示する X 線画像表示手段、前記側面歯列画像に対応する歯の仮想矯正又は仮想審美着色した歯列を表示する仮想歯列表示手段を有する請求項 1 に記載の口腔内撮影表示システム。

【請求項 5】

撮影部位を指示する照明光を 前記反射鏡を介して照射する照射手段を前記撮像器の周辺

に配置する請求項 2 に記載の口腔内撮影表示システム。